

令和7年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

令和7年度予算査定は、令和6年11月から令和7年1月にかけて実施し、令和7年2月20日に、令和7年度予算案を記者発表いたしました。

令和7年度の各会計予算案は、総合計画や総合戦略の具現化や、将来にわたり心豊かに住み続けられるまちづくりに向けた、こども・子育て施策やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、様々な施策や事業を盛り込んだものとなりました。

令和7年度予算の主な事業の査定内容について、お知らせいたします。

主な事業の査定内容です。

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
市民サービスオンライン化事業 DXの推進や市民の利便性向上を目指し、オンラインサービスの内容や手続きについて検討を行い、行政手続きのオンライン化に向けたシステムの構築を行おうとするものです。 提供する手続きについては、今後検討となりますが、他の自治体でも提供されている住民票の写しや税証明等の交付申請、公共施設の予約等を想定しており、手続きがオンラインで完結するよう、キャッシュレス決済も合わせて検討していきます。	要求額					デジタル技術の活用は、人口減少社会の中で必要な住民サービスを維持するために必須なものであります。 本市におきましても、名寄市DX推進計画において、時間と場所にとらわれない窓口と手続き、いわゆる「手のひら市役所」の実現を位置づけており、国の交付金を活用したシステム構築について検討いたしました。 多額の費用も伴うことから、事業内容について検討を重ね、当初では利用しない機能などを一部先送りとするなどし、予算を計上することとしました。 オンライン化の実現は、多くの市民の皆様の利便性向上につながるものと考えております。提供できる手続きなど十分に検討し、実現に向け着実に進めてまいります。
	18,029	9,014			9,015	
	査定額					
	9,262	4,631			4,631	
	△事業内容を精査した上で実施					

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
名寄市ポータルサイト更新業務委託料 令和5年に実施した本市のホームページ等に関するアンケート調査では、動作の遅さや検索のしづらさ、イベント情報が一目で確認できない等の回答をいただいております、見やすい表示の工夫や更新作業に努めてきたところです。 今回、国の交付金を活用し、システムを更新することで、デザインや操作性を改善し、市民満足度の向上と行政情報の発信力向上、簡易な操作になることによる更新作業の効率化を目指したものです。	要求額 24,612 査定額 0 ×ゼロ査定	12,306			12,306 0	市民サービス向上と業務の効率化のため、ホームページ更新の必要性は一定程度理解できるものの、更新には多額の費用を要することから国の交付金の活用を検討しておりました。 査定経過で交付金の活用については難しいことが分かったほか、システムを更新し、見栄えが改善されても、その後どのように運用していくか、情報発信の一定のルールやマニュアル作りが必要なのではないか、全庁的に職員研修などを通して、職員一人ひとりの情報発信力を高めるような意識の醸成がまず必要なのではないか等、検討すべき課題がみられることから、予算の計上は見送ることとしました。 市民の皆様が利用しやすいホームページを目指して、今後とも検討を続けてまいります。
「のるーと名寄」利便性向上事業 「のるーと名寄」は、令和4年10月のコミュニティバス減便を理由として、令和5年11月よりAI活用型オンデマンドバスとして運行を開始しました。 新たな移動手段として認知も進み、利用人数や利用アンケートによる満足度も一定以上の水準を満たしてはいますが、Yorocaによる回数券や割引券の導入と新しい乗降場所の設置により、一層の利便性向上を図ろうとするものです。	要求額 3,924 査定額 400 △事業内容を精査した上で実施				3,924 400	のるーと名寄については運行から1年が経過し、地域交通を支える一つの手段として、市民の皆様にも認知されてきたものと考えております。今回、利用された方からいただいた要望やアンケート結果、利用状況のデータ分析などから、利便性向上や課題解決を目指した事業案について検討いたしました。 新しい乗降場所の設置につきましては、利用状況のデータ分析などから、利便性向上に繋がるものと判断し、予算計上することとしました。 回数券・割引券の導入についても検討しましたが、割引内容の設定には詳細な分析が必要であり、引き続き検討することとして今回は予算の計上を見送ることとしました。 今後も暮らしやすいまちづくりのため、皆様の声を伺いながら利便性向上に努めてまいります。

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
バスケットゴール更新 スポーツセンターに平成7年設置のバスケットゴールにおいて、経年劣化による油圧機能の低下によりゴール板の高度維持が困難になるとともに、支柱の歪みによるゴール板の傾きが生じております。 このことから、ウォームアップ用コートや市民大会等においては、参加チームの理解を得ながら使用しておりますが、全国・全道につながるような公式大会では使用できない状況となっております。 継続使用による事故等の発生防止と、公式大会の名寄開催という市民ニーズに応えるため、バスケットゴール1組（2台）を更新しようとするものです。	要求額					更新については、一部特定財源が見込めるものの多額の費用がかかるため、他のスポーツにかかる備品更新費用も含めて協議しました。 バスケットゴールは設置から30年経過し、修理不能であり、継続使用することによる事故の発生が懸念されること、部活動の地域移行の推進により、スポーツセンターも活動場所の一つとして利用が増えていくこと、また、更新することにより要望が寄せられていた公式大会の誘致が可能になることなどから、優先順位が高いものと判断し、予算計上することとしました。 市民の皆様のニーズに単年度で全てお応えするのは難しい財政状況ではありますが、今後とも活用できる特定財源を検討しながら、安全安心にスポーツ施設を利用いただけるよう、計画的な備品更新に努めてまいります。
	11,499			4,800	6,699	
	査定額 11,499 ○実施			4,800	6,699	
テニスコート整備事業 市営テニスコートは、昭和54年にオムニコート4面、グリーンサンド4面を設置し、その後平成2年、3年、16年、24年に大規模改修を行っております。 オムニコートの人工芝において、経年劣化から亀裂や剥離が発生し、部分補修をしておりますが、補修後の凹凸がプレイに影響を与え、けがにつながりかねないことから、人工芝の全面張替工事を行うことにより安全な利用を目指すものです。 また、名寄公園テニスコートは、ラインが経年劣化により剥がれたり、ライン部分以外の土が削れてきていることから、安全な利用のためにコートを整え、ラインを張り替えようとするものです。	要求額					現在のテニスコートの状況から、安全な利用のため改修する必要性は理解できる場所でしたが、改修には多額の費用がかかることともに、市内に複数のコートを有していることから、今後の維持管理について検討する必要があると判断し、予算の計上を見送ることとしました。 テニスコートを維持するためには、一定程度の期間で大規模改修が必要になると見込まれます。利用される方の安全安心な活動を支えるためには、当然改修費用を確保する必要がありますので、現在複数あるコートをどのように維持していくかを検討していく必要があります。また、部活動の地域移行により、公共のコート利用状況の変化も考えられます。利用状況の推移や関係各所との協議等から条件を整理し、引き続き検討してまいります。
	55,703			24,000	31,703	
	査定額 0 ×ゼロ査定				0	

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
総合福祉センター2階改修工事 総合福祉センター2階にありましたこども発達支援センターが、令和6年4月に認定こども園あいあいに移転しました。 空いたスペースの利用方法について検討し、今後、貸館・相談室・物品庫として利用していくため、館内の改修工事を実施するとともに、机や椅子などの備品を購入しようとするものです。	要求額					総合福祉センター2階の一部は、こども発達支援センターとして、相談室、指導員室、子ども用トイレ・水回り、プレイルームを整備しており、空きスペースの今後の利用に向けた改修内容について協議しました。 利用目的から改修の必要性は理解できるものの、全てを整備するには多額の経費がかかることから、今回はWi-Fi設置と、必要最小限の館内改修工事を行うこととし、備品購入費については予算計上を見送ることとしました。 厳しい財政状況から、全ての整備費用の計上は難しいところですが、通信環境向上により、会議等で利用される方の利便性向上につながるものと考えます。 今後も利用状況を踏まえ、適正な施設整備に努めてまいります。
	11,538 査定額 2,979 △事業内容を精査した上で実施				11,538 2,979	
インフルエンザワクチン助成事業 インフルエンザワクチンは、罹患による重症化や発症そのものに予防効果があるといわれており、乳幼児や高齢者、基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果があると考えられます。高齢者のみだった助成事業を中学生以下の小児にも拡大することにより、重症化予防と体力消耗による他の感染症への感染リスク軽減を図ります。 ●助成額 接種1回につき1,200円	要求額			1,200	6,146	インフルエンザワクチン接種に関しては、高齢者については定期接種として接種費用の助成をしておりましたが、任意接種となる他の年齢層に対する助成は無く、罹患すると重症化する可能性が高い小児層への助成について従前より検討を重ねておりました。 今回の予算協議においては、年齢層や助成額について、他自治体の状況や現在までの接種率など状況を分析し、2回接種が基本となる13歳未満のお子さんと中学生については、接種費用の負担感と重症化のリスクが高いことから接種費用の助成を行うこととし、予算を計上することとしました。 接種率が向上することで、小児の重症化を防ぎ、罹患された本人はもとより、看病するご家族の負担軽減も図られるものと考えております。
	7,346 査定額 7,346 ○実施			1,200	6,146	

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
家庭ごみ収集ICT化事業 現在、本市ではごみ収集に関する問い合わせが来た際に、市では収集が終了した地域を把握することができないため、収集業者に電話で確認し、対応している状況です。 しかしながら、ごみの量が多い時期や雪の影響を受ける冬期間は、収集作業に遅れが生じたり、収集できない状況が発生することもあり、問い合わせから回答まで多くの時間を要する場合があります。 そのため、収集効率化システムを導入し、収集ルートを把握するとともに、最適ルートによる収集の時間短縮や日報のデジタル化など、収集業務の効率化を図ろうとするものです。	要求額 6,354 ----- 査定額 0 ×ゼロ査定	3,176 ----- 0 ×ゼロ査定			3,178 ----- 0 ×ゼロ査定	収集効率化システムの導入により、効率の良い収集ルートを作成できても、実際の除雪状況や出されているごみの分別状況等からも収集時間は影響を受けることが想定されます。そのため、市民の皆様の満足度向上に繋がるものになるか協議を重ねましたが、今回は費用対効果が見合わないという判断となり、予算計上を見送ることとしました。 今後とも引き続き、市民の皆様からのお問い合わせに関しては、真摯に対応するとともに、業務の効率化について検討を続けてまいります。
キャンプ場整備（ふうれん望湖台・森の休暇村） ●望湖台キャンプ場については、アウトドアのイベント開催などにより、家族連れの利用者が増加したことから、洋式トイレへの改修、コテージのエアコン及び給湯器取替工事を実施し、利用満足度の向上を図ろうとするものです。 【要求額 1,135千円】 ●森の休暇村については、コテージはリピーターも多い人気施設であることから、経年劣化による外壁の傷みに対し、大規模修繕になる前に塗装修繕を行い、修繕費の圧縮を図ろうとするものです。 【要求額 908千円】	要求額 2,043 ----- 査定額 0 ×ゼロ査定				2,043 ----- 0 ×ゼロ査定	ふうれん望湖台自然公園と森の休暇村は、それぞれ経済部と建設水道部が担当しております。両施設ともアウトドアを楽しむ施設という同じ目的の公共施設であり、今後も利用される方の満足度を保ちながら維持していくためには、一定の修繕費用を担保しなくてはならない課題を抱えています。 施設をどのように維持管理していくか、部署を超えて連携し、施設利用料も含め検討していくことが必要であることから、当初予算では計上を見送ることとしました。 近年の物価の高騰や人件費の上昇から、施設の維持管理経費は増加傾向にあります。利用される方に満足される施設を維持していくために、施設の在り方や適正な利用料金等について、近隣自治体などの状況も参考にしながら、検討を続けてまいります。

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
部活動学校間バス移動モデル事業 生徒が将来にわたってスポーツ・文化活動に継続して親しむ機会の確保や、学校の働き方改革の推進による学校教育の質の向上を目指し、令和４年度から部活動の地域移行に向けた検討や取組を行ってきたところです。 部活動の地域移行をスムーズに行うため、各学校の運動部活動を令和７年夏から「拠点校方式」とすることに伴い、生徒の通う学校から拠点校への移動を支援しようとするものです。	要求額 8,810 査定額 8,810 ○実施				8,810 8,810	中学校部活動の地域移行・地域展開に向けては、NAYOROスタイル部活動改革推進事業費の中で現在展開しているところであり、バス移動モデル事業もその事業の一部です。 令和５年度から単独部活動・合同部活動・拠点校部活動の３つの方式を活用していましたが、令和７年度夏からは、拠点校方式のみとすることから、費用面や利便性、効率性などから、様々な交通手段を用いた複数のパターンで検討を重ね、予算計上したところです。 現在の部活動の数や想定される部員数から試算したものですので、運行ルートや交通手段の変更等も考えられますが、生徒の皆さんの安全な移動を支え、活発な部活動が継続できるよう努めてまいります。
児童クラブWi-Fi設置事業 GIGAスクール構想に伴い市内全小中学校の児童生徒に整備された１人１台端末に、令和６年６月からAIドリルが導入され、授業での利用が進むほか、全学年で端末の持ち帰りも進み、AIドリルを活用した宿題も増加しています。 児童クラブでは従前より宿題の時間を設けてはいるものの、Wi-Fi設備が整備されていないことから、端末を用いた宿題に対応できていない状況です。 児童クラブに在籍する児童と自宅で過ごす児童で学習面に差が生じないよう、市営・民間それぞれの児童クラブにWi-Fi環境を整備し、学習の機会均等を図ろうとするものです。	要求額 2,045 査定額 2,045 ○実施				2,045 2,045	端末も持ち帰りとなり、宿題のほか、家庭学習ドリルとしての利用も増えてきており、平日の放課後のみならず、夏休み等の長期休暇においても保護者の就業時間中児童クラブで過ごす児童にとって、端末を利用できないことは学習時間に差を生じてしまうことに繋がり、児童クラブのWi-Fi設置については多くの要望意見が寄せられていたところです。 Wi-Fi環境を市営・民間の全児童クラブにおいて整備し、クラブ在籍児童も安心して学習に取り組めるよう支援してまいります。

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
ブックスタート事業 親子が絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけをつくることで、健やかな親子関係の構築を支援するとともに図書館の利用拡大を目指そうとするものです。 ● 4 か月児 保健センターでの4 か月健診の際、読み聞かせを行うとともに、絵本2冊、子育てパンフレット、図書館案内などをトートバッグに入れてプレゼントします。 ● 3 歳児 読み聞かせ会の案内と一緒に絵本 1 冊分の引換券を同封する。読み聞かせ会終了後、引換券と絵本を交換します。	要求額					幼い頃からの読み聞かせで本に親しみ、読書習慣を身につけるきっかけづくりとなり、図書館利用の拡大に繋がるものと考えますが、事業を行う財源が課題となっておりました。 今回、財源として雑誌スポンサー制度や企業版ふるさと納税などの活用が見込まれることから、予算を計上することとしました。 読み聞かせを実施した後、子育てパンフレットと絵本をお渡しすることにより、初めての子育てや読み聞かせの負担感の軽減を図るとともに、3歳に成長された際に再度絵本をお渡しすることで図書館に足を運んでいただき、幼いお子さんとの間で心豊かな時間を育んでいただけることを期待しております。
	915			915	0	
	査定額 915 ○実施			915	0	
しらかばハイツ等施設改修 開設から30年以上経過し、施設・設備ともに老朽化が進んでおります。 しかしながら入所待機者やご家族の多くは、住み慣れたこの地区での入所を希望されており、施設・設備の長寿命化を図りながら入所者を受け入れていく必要があります。 利用される方へ安全安心な介護サービスを今後も継続的に提供することを目指して、令和5年度実施設計を行い、令和7年度改修工事を行うおとするものです。	要求額					改修にあたっては、道の補助金を活用し進めて行く予定ですが、補助金はしらかばハイツのみが補助対象となっていること、また、資材費・人件費等の高騰もあり多額の費用がかかることから、事業費を精査し、補助対象部分をメインに改修することとして予算を計上したところです。 改修を進め、利用される方、ご家族、介護スタッフにとって安全安心で快適な環境を構築してまいります。
	630,000	359,999	270,000		1	
	査定額 547,000 △事業内容を精査した上で実施	359,999	187,000		1	

事業名及び概要	事業費	財 源 内 訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
大学学生募集対策事業 これまでは、大学訪問や進学相談会で名寄市立大学を認知した人へのアプローチが主でしたが、志願者の減少要因を分析していくなか、石狩以西では想定以上に名寄市立大学が知られていないことが分かりました。そのため、まず大学の存在を認知してもらうことから始め、志願者の増加につなげていこうとするものです。	要求額					募集対策事業として計画された案について協議を行いました。 テレビスタジオでの進学相談会及び広報活動のほか、SNS・テレビ・新聞など様々なメディアでの広告から、それぞれのターゲット層や費用対効果などを検討し、当初予算ではCM放映ならびにデジタル広告にかかる予算を計上することといたしました。 なお、情報発信については、市全体で取り組みを進めることが、より大きな効果を生むものと考えます。今回予算計上した広報活動とあわせ、部署を超えた連携も図りながら認知度向上に努め、志願者の増加につながるよう取り組んでまいります。
	6,458 査定額 2,805 △事業内容を精査した上で実施				6,458 2,805	